

第 1 卷

一、本會之目的在於促進我國社會福利事業之發展，並協助政府推行各項社會福利政策。本會之宗旨在於：(一) 研究社會福利政策之實施；(二) 提供社會福利政策之諮詢；(三) 推廣社會福利政策之宣傳；(四) 協助政府推行社會福利政策之執行。本會之組織由下列各部分組成：(一) 理事會；(二) 監事會；(三) 秘書處；(四) 各專任委員會。本會之經費來源包括：(一) 政府撥款；(二) 社會捐助；(三) 本會自行籌募。本會之辦事處設於台北市中正區。

第 2 卷

二、本會之組織由下列各部分組成：(一) 理事會；(二) 監事會；(三) 秘書處；(四) 各專任委員會。本會之經費來源包括：(一) 政府撥款；(二) 社會捐助；(三) 本會自行籌募。本會之辦事處設於台北市中正區。

...

...

...

...

...

この書は、平定回疆の戦いについて、その経緯、戦術、戦果などを詳しく述べている。作者は、この戦いを、清の版圖を擴大する上での重要な一環として描いている。文中には、清軍の勇猛な戦況、回疆の地勢、そして清と回疆との歴史的関係にも触れている。また、戦後の統治政策についても言及されている。全体的に、この書は歴史的事実を客観的に記述しているものと見られる。

前記の如きにして、平定回疆の戦いについて、その経緯、戦術、戦果などを詳しく述べている。作者は、この戦いを、清の版圖を擴大する上での重要な一環として描いている。文中には、清軍の勇猛な戦況、回疆の地勢、そして清と回疆との歴史的関係にも触れている。また、戦後の統治政策についても言及されている。全体的に、この書は歴史的事実を客観的に記述しているものと見られる。

